

山麓探偵団通信

5月6日
合併号

春の訪れにふさわしく、約一年ぶりに伊藤浩美映像カメラマンに団長をお願いしての、青木ヶ原樹海散策でした。

富士風穴までの道々、ツルアリドオシの赤い実や、みずみずしい苔を足元に、総勢十九名が目をきよらさよらせて、すすみます。

昆虫では、フニシヤクガ(真冬に活動する蛾)やカミキリムシを見つければ、野鳥ではミソサザイやシジュウカラ、ゴジュウカラ、センダイムシクイ、メボソムシクイの鳴き声に耳をすませながら、「聞きななし」(動物の鳴き声、主に鳥のさえずりを人間の言葉に、時には意味のある言語の言葉やフレーズに当てはめて憶えやすくしたもの。例として、シヨウチュウ・イッパイ・グイ、テッペン・カケタカ、チョットコイ・チョットコトイなど)の話題に、思わず笑い声。

キベリタテハという蝶にも出会い、また、大室山ふもとの広葉樹林に出ると、ミズナラやブナの大木、さらにふかふかした枯葉の中

に、ヤマシヤクヤクの群落が、人知れず可憐な葉をつけていました。樹林では、葉の光合成がまんべんなく行われるように、光のうばい合いが常だとうかがうと、枝や葉の伸び具合、その形が、とたんにいとおしく感じられました。伊藤団長から、樹海には、特別なにもないことが、あえて貴重だと思う。



< 新緑の樹海も魅力的だ! >

こういう時間を共有できて楽しかったというご感想を、いただきました。(特別なにもない)という言葉が、少しだけわかる年齢になったのか、感慨深く受けとめられました。

◆参加者の感想

○楽しく、さわやかな一日だった。巨木に出会えてよかった。
○久しぶりに洞窟をのぞいて、うれしかった。

○洞窟からの風が印象的だった。



< 雪の残る富士風穴を探索 >

- リテックスでき、樹海はきれいで芸術的な趣があると思った。
- 目も心も洗われた。
- 仲間歩きは、久々に楽しかった。
- 奥深い富士山の懐を感じた。
- 初めての樹海は、予想とはちがつて、生き生きしていた。

◎お知らせ

NHK甲府放送局が、毎週平日の夕方6時10分から放送している、『NEWSまるごと山梨』という番組の中の「がんばる甲州人」コーナーで、戸高雅史さん(山中湖村在住)と彼の活動内容が紹介されます。

山梨県内の方、是非ご覧ください。
放送日は、6月3日(火)です。

六月の探偵団活動ご案内

へ源流へのいざないへ

今年もアルピニストの戸高雅史さんを団長に、近くの源流沿いで一泊の野営を体験します。源流の自然に身を浸し、あるがままを感じるひと時を・・・

* 少雨決行。8名限定です。

・活動日 六月二十八日(土) から一泊

・集合 午後一時に森の喫茶室あみん。解散は、翌日の午後二時ころ。

・参加費 4000円(ガイド代、

二食代・保険代含む)

・持ち物 食器・シユラフ(貸与有)・銀マツト・防寒着・着替え・水遊びのできる服装・雨具・虫除け・沢ダビ(貸与有)・軍手類・翌日の行動食・トイレ用ビニール袋

◎申し込み・問い合わせは三日前までに、電話かメールでお願いします。

発行 山麓探偵団 事務局

山梨県山中湖村平野一六九八
電話 〇五五五・六五・七〇二三